

携帯電話から考える親子関係

【1】 テーマ設定ができるまで

矢原珠美子前教育長の「ケータイを考える」という講演では、おとなと子どもの携帯電話観の違いがよくわかり、「ケータイ」から得られるインターネットの膨大な情報の中には、私達の想像を絶するような現状があることを知り痛感しました。

親世代はケータイの危険性についてあまり知らず、母親同士意見を交換しながらケータイ問題について、判断力のかける小中学生の子ども達と家庭内から話し合うことで親子関係を深めようというところから、このテーマを設定しました。

そこで私たちのグループでは、自分たちの周りの親子に携帯電話の所持と現状について話を聞いて、調べてみることにしました。

【2】 研修日程

6月26日（金） 第2回母親委員会 開催

講演 「ケータイを考える」

講師 矢原 珠美子 氏 （小松市前教育長）

講演会の後に、これからどういう形で会を進めて行くか軽く話し合いを持ち、研究テーマを決めました。

7月13日（月） Dグループ 第1回打ち合わせ会 開催

ケータイ（携帯電話）のメリット、デメリットについて話し合い『子どもとケータイについて話し合おう！』という課題を決めました。

7月22日（水） Dグループ 第2回打ち合わせ会 開催

子どもと話し合った結果を出し合いました。
また、今度は家庭内（夫）で子どもの所持するケータイ問題について話し合う課題を決めました。

8月 3日（月） Dグループ 第3回打ち合わせ会 開催

各家庭で話し合った結果を出し合い、ケータイの必要性について再度、意見を出し合いました。

8月19日（水） Dグループ 第4回打ち合わせ会 開催

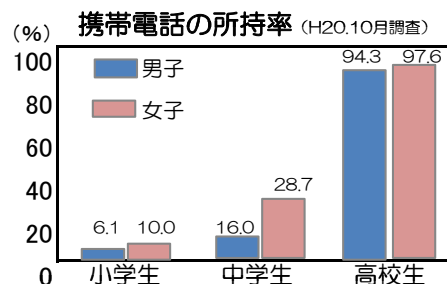
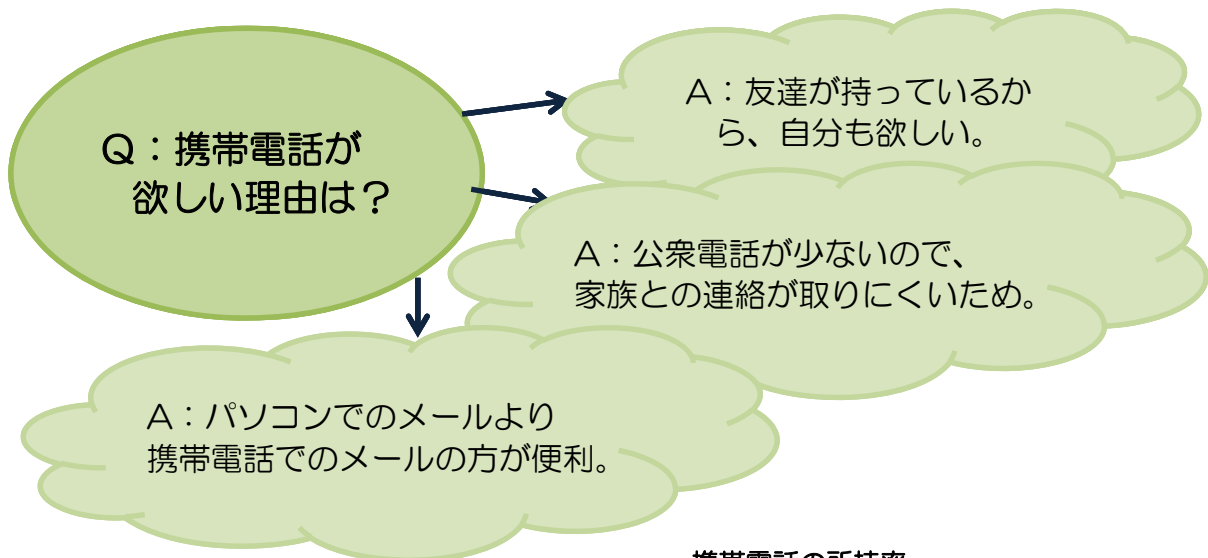
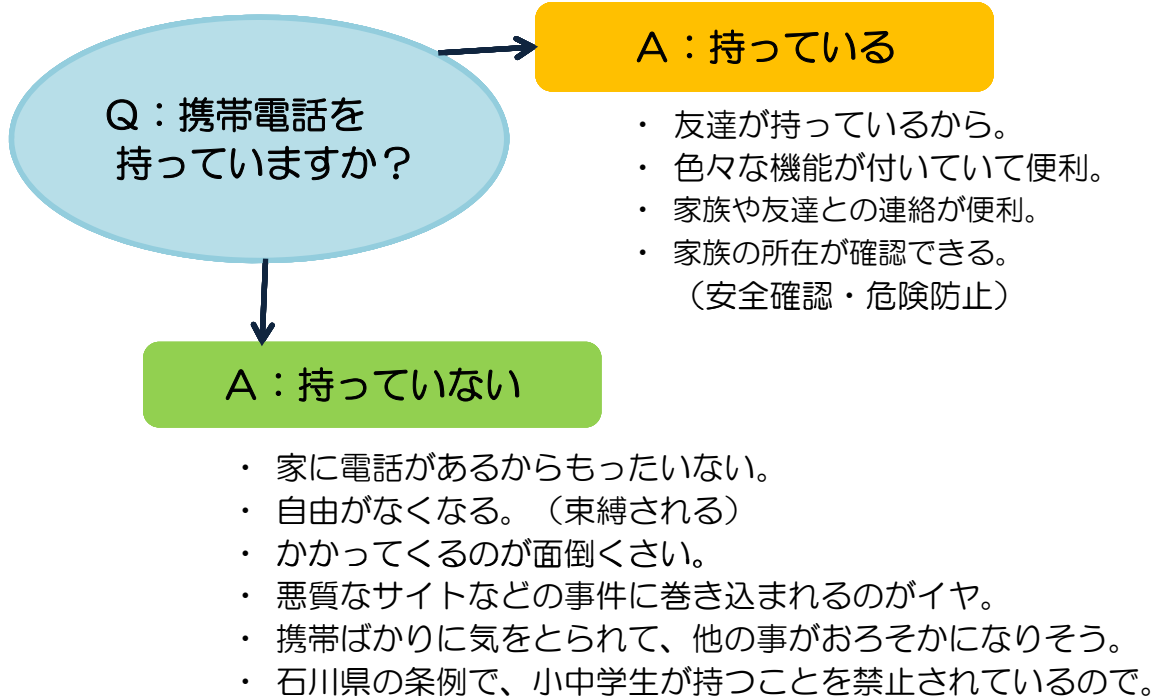
報告書のまとめを話し合いました。

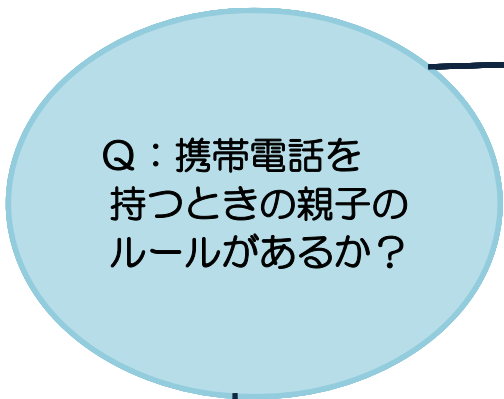
9月 2日（水） Dグループ 第5回打ち合わせ会 開催

最終の打ち合わせ会で報告書をまとめました。

【3】 中学生の携帯電話の所持と現状（Q&A）

中学生を持つ家庭から話をききました。

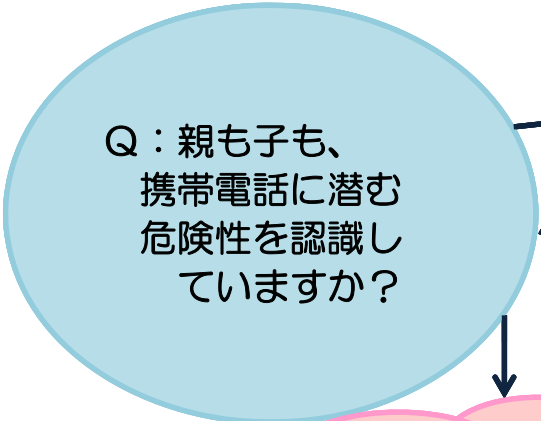




A：ある。

- ・ 時間を決めている。
- ・ 夜間22時～7時は電源を切る。
- ・ フィルタリングをかけている。
- ・ 金額を決めている。
- ・ 親子で所在を報告する。
- ・ 有害サイトを見ない。
- ・ 家族でいる時間は携帯電話を触らない。
- ・ 学校に持っていかない。

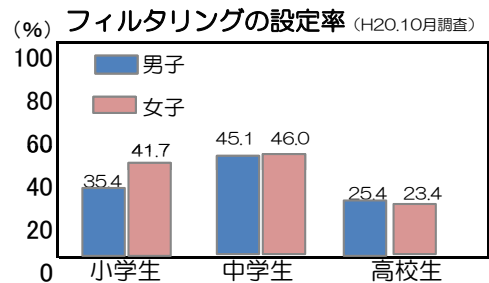
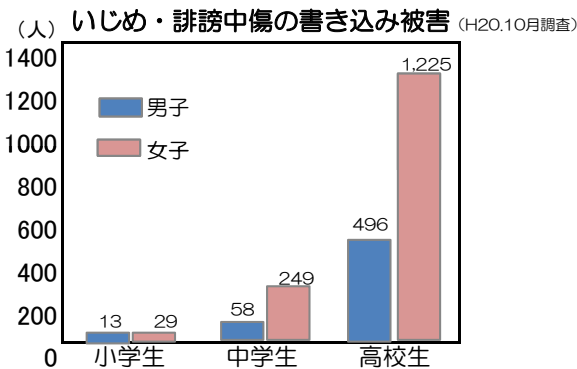
A：ない。(+_+)



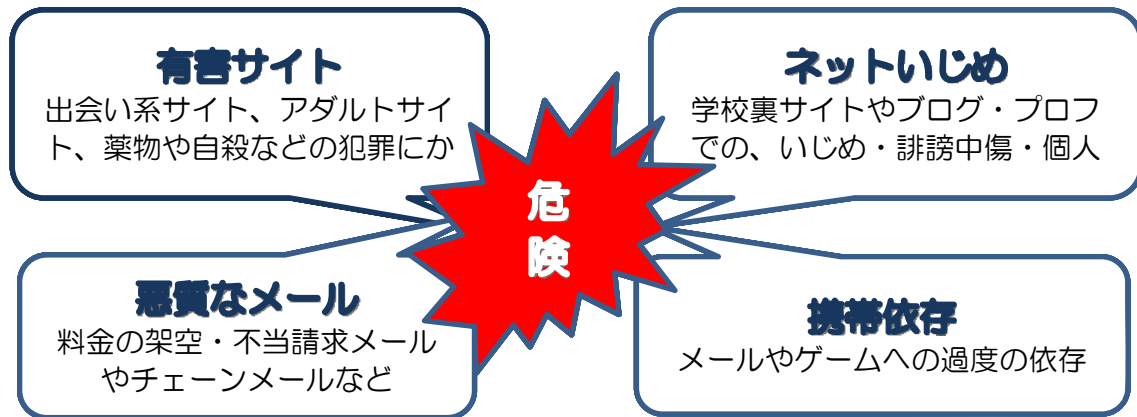
A：子供を信じている。信頼関係が出来る

A：危険な事実をあまり

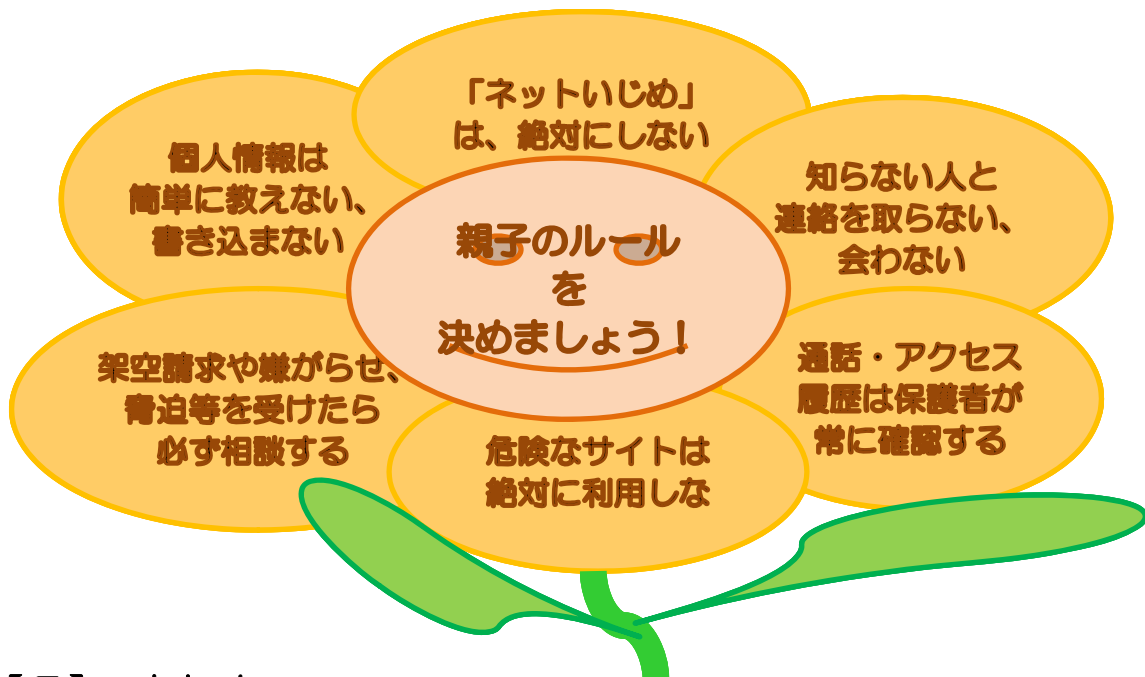
A：TV等で知っているが、他人事のようで実感が無い。



【4】 携帯電話に潜む危険性の認識と対策



防災、防犯その他の特別な目的で携帯電話を持たせる場合には・・・



【5】 まとめ

- ★ まず、親の方が知識を深めることが重要!!
- ★ 他の人のルール決めが参考になりました。
- ★ 身近な人の危険な実例が参考になりました。
- ★ き然とした態度で判断する必要性を感じました。
- ★ 親子・夫婦間で考える良いきっかけになりました。
- ★ 親子の信頼関係を築き、子どもの本音がきける親でありたい!!

本当にケータイは必要なの？

人間関係が希薄になっている現代社会において、大切な子供たちを守るためにインターネット・ケータイの危険性を認識し、十分に親子で話し合う必要性を感じました。